

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和3年12月17日)

1 測量等業務にかかる入札制度の改正案について

【県土総務課】……2ページ

2 米子駅南北自由通路整備事業に係る県から市への補助金について

【道路建設課】……4ページ

3 「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第7回会議の開催について

【淀江産業廃棄物処理施設計画審査室】……5ページ

県 土 整 備 部

測量等業務にかかる入札制度の改正案について

令和3年12月17日
県土総務課

公共工事にかかる入札については、一般競争入札方式を基本としながら価格と品質が総合的に優れた調達を行う「総合評価落札方式」に取り組むこととしており、測量等業務において、令和4年度より、現在実施中の限定公募型指名競争入札を廃止し制限付き一般競争入札の適用範囲を拡大するとともに、試行中である総合評価落札方式を本実施する制度改正を検討しておりますのでご報告します。

1 改正の目的

総合評価落札方式は入札価格だけでなく、会社及び担当技術者の技術力などもあわせて評価し、落札者を決定する方式であり、制度改正により入札の競争性と透明性の一層の向上と業務成果の品質の向上を図ることを目的とする。

2 これまでの経緯

年月	内容
平成19年 8月	指名競争入札方式から一般競争入札方式主体へ入札方式を改正
平成20年10月	制限付きを含む一般競争入札において総合評価落札方式を試行開始
平成28年 4月	限定公募型指名競争入札の価格帯に制限付一般競争入札を拡大試行開始
令和元年 6月	限定公募型指名競争入札の価格帯に地域密着型総合評価入札を拡大試行開始

3 改正の概要

(1) 入札方式の改正

限定公募型指名競争入札を廃止し、同価格帯に制限付一般競争入札を適用

(2) 落札方式の改正

制限付を含む一般競争入札に総合評価落札方式を適用

4 総合評価落札方式の種類

方式	価格帯（予定価格）	対象業務
地域密着型総合評価	300万円以上 800万円未満	土木関係建設コンサルタント業務 補償関係コンサルタント業務
簡便型総合評価	800万円以上	土木関係建設コンサルタント業務 補償関係コンサルタント業務
技術提案型総合評価	100万円以上	土木関係コンサルタント業務で難易度が特に高いもの

5 今後のスケジュール

令和3年12月下旬 鳥取県建設工事等入札・契約審議会※

※鳥取県建設工事等入札・契約審議会条例に基づき、建設工事等の入札及び契約に関する制度及びその運用状況に関する審議を行う。（委員：谷口朋代鳥取大学教授ほか6名）

令和4年2月下旬 2月定例県議会上程（基本方針の改正及び関係規則等の改正）

令和4年4月 改正入札制度の施行

総合評価落札方式の試行経緯と改正案

別紙

①要綱等による規定（試行を除いたもの）

		100万円	500万円	2.3億円以上
入札方式	随意契約	(限定公募型)指名競争入札	制限付一般競争入札	一般競争入札
落札方式	価格競争	価格競争	価格競争	価格競争

②現在の施行状況（※赤字が試行部分）

- 総合評価落札方式の試行（簡便型：H20～、技術提案型：H21～、地域密着型：R1～）
- 100万円～500万円の金額帯における制限付一般競争入札の試行（平成28年度～）

		100万円	300万円	500万円	800万円	2.3億円以上
入札方式	随意契約	(限定公募型)指名競争入札	(注1) (注2)		制限付一般競争入札	一般競争入札
落札方式	価格競争	価格競争	価格競争	地域密着型総合評価(注3) 簡便型総合評価(注4)		価格競争
技術提案型総合評価						

- 注1) 限定公募型指名競争業務のうち選定要綱に掲げる通常業務又は難易度の高い業務で発注機関が選定するもので、測量業務および土木関係建設コンサルタント業務における通常業務にあっては予定価格が300万円以上500万円未満のもの。
- 注2) 限定公募型指名競争業務のうち選定要綱に掲げる通常業務又は難易度の高い業務で発注機関が選定するもので、地質調査業務及び補償関係コンサルタント業務にあっては予定価格が100万円以上500万円未満のもの。
- 注3) 測量業務および地質調査業務を除く、予定価格が300万円以上800万円未満の業務の中から発注機関が選定する。
- 注4) 測量業務および地質調査業務を除く、予定価格が800万円以上の業務の中から発注機関が選定する。



③改正後の規定（令和4年度～）

		100万円	300万円	800万円	2.3億円以上
入札方式	随意契約	制限付一般競争入札			一般競争入札
落札方式	価格競争	価格競争(注5)			価格競争
		地域密着型総合評価(注6) 簡便型総合評価(注7)			
技術提案型総合評価					

- 注5) 総合評価になじまない業務は価格競争方式で実施。
(対象外業務の例)
①難易度が特に高いもの（技術提案型を除く）
②工期短縮が図れないもの
③既発注業務との関連が大きいもの
④当初業務内容から大きく変更することが予想されるもの
⑤緊急又は不調になったもの
⑥地域に偏りのあるもの
- 注6) 測量業務および地質調査業務を除く、予定価格が300万円以上800万円未満の業務。
- 注7) 測量業務および地質調査業務を除く、予定価格が800万円以上の業務。

米子駅南北自由通路整備事業に係る県から市への補助金について

令和3年12月17日
道路建設課

米子駅南北自由通路等整備事業（米子市事業）において、県は米子市へ「米子駅南北自由通路整備支援事業費補助金交付要綱」（平成30年3月28日施行）による補助を行っています。令和3年11月16日に米子市が市議会都市経済委員会に示した「全体事業費の増額」に伴う県補助金の概要及び増額内容について報告します。

1 県補助金の概要

(1) 交付目的

本補助金は、米子駅が地域の交通体系において果たす重要な役割にかんがみ、米子市が平成28年度から行う米子駅南北自由通路の整備に係る事業費の一部を補助することにより、交通結節点としての機能強化による利便性の向上と交通の円滑化を支援し、もって鳥取県西部圏域の玄関口として相応しい都市環境の整備と米子駅を中心とした賑わいの創出を図ることを目的として交付する。

(2) 補助対象

米子市が、米子駅南北自由通路整備事業を国の社会資本整備総合交付金を充てて行う場合に、市の実質負担額の1/2を補助する。ただし、次に掲げる4項目を除く。

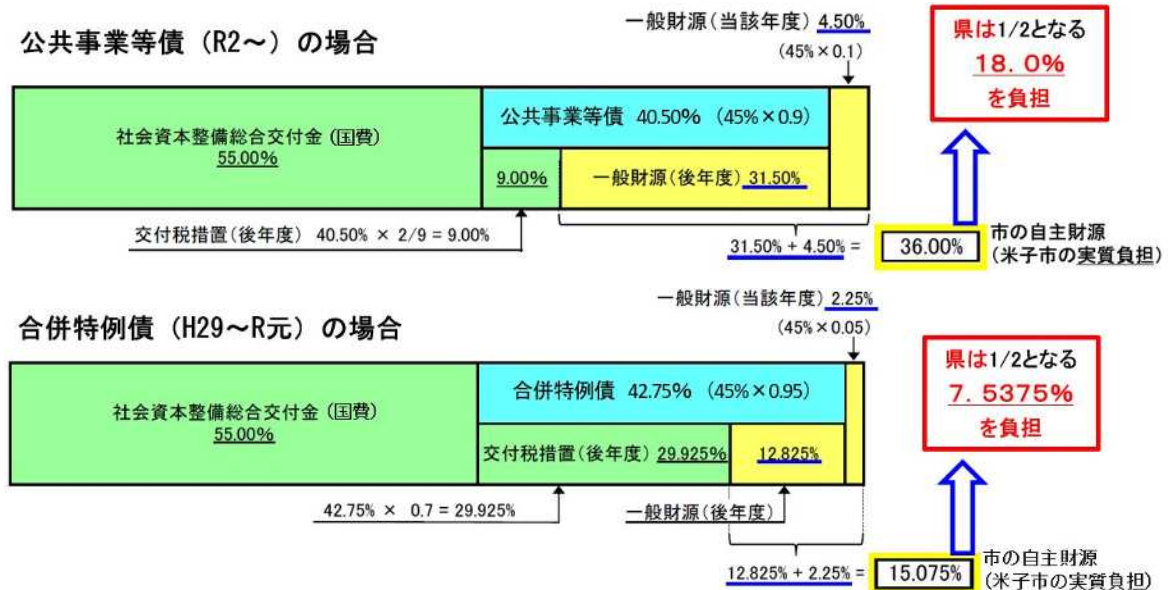
- ①米子駅南広場整備に係る全ての経費、②米子駅南北自由通路整備に係る用地費
 - ③地方債の利子、④事業計画の認可日（平成29年3月10日）前に実施した事業に係る経費
- 補助期間：市の地方債償還が完了する翌年までを予定

2 県補助金の増額内容

(1) 県補助金の負担割合

市の実質負担額は、交付金事業費から国費及び起債借入の後年度措置分を差し引いた額であり、県補助金額は、その1/2を補助するものである。市は現在、公共事業等債を借入しており、この場合の市の実質負担率は36%であり、県負担率はその1/2の18%となる。

※R元年度までは合併特例債を利用されており、その場合の市の実質負担率は約15%、県の負担率は約7.5%となっている。



(2) 県補助金の増額

県補助金は、県補助対象事業費の増額10億円（自由通路工事費＋公共補償費）に県負担率18%を乗じた1.8億円となる。

				現行		変更		増減	
全体事業費	交付金事業	自由通路	工事費	63.2	27.3	76.6	31.0	+13.4	+3.7
			公共補償		15.3		21.6		+6.3
			一般補償		12.5		12.5		+0.0
	単独市費	自由通路	工事費		8.1		9.7		+1.6
			公共補償		0		1.8		+1.8
うち県補助対象事業費	交付金事業	自由通路	工事費	54.0	26.2	64.0	29.9	+10.0	+3.7
			公共補償		15.3		21.6		+6.3
			一般補償		12.5		12.5		+0.0
			県補助金総額	交付金事業	自由通路	7.7	9.5	+1.8	
米子市負担総額（県補助後）	交付金事業、単独市費	自由通路、駅南広場	10.6	14.8	+4.2				

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第7回会議の開催について

令和3年12月17日
淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第7回会議を開催します。

- 1 日時 令和3年12月25日(土)午後1時から午後3時30分頃まで
- 2 会場 [会議] さなめホールイベントホール(米子市淀江文化センター:米子市淀江町西原708-4)
[傍聴] (会議室内) さなめホール イベントホール (定員30名)
(モニター) [西部会場] さなめホール 大ホール (定員50名)
[東部会場] 県庁講堂(鳥取市東町1丁目220) (定員30名)
- 3 議題(予定)
 - (1) 水理地質構造の見直し
 - (2) 地下水シミュレーションの現況再現解析結果(途中段階)
 - (3) 今後のスケジュール
- 4 開催方法
全委員が会場にて参加される予定。
(注) 新型コロナウイルスの感染状況によっては、会議室内傍聴の取り止め又は定員数の減、インターネットを介したウェブ会議での開催となる場合がある。
- 5 会議の傍聴
 - (1) 会議室内傍聴の希望者が定員を超える場合は、午後0時40分に抽選を行う。抽選に外れた方には、大ホールでモニターにより傍聴していただく。
 - (2) マスク着用、受付での手指の消毒、連絡先等(氏名、住所、電話番号)の記入、検温などをお願いする。(協力いただけない方、風邪症状がある方、味覚・嗅覚に違和感がある方などの傍聴はお断りする。)
 - (3) スマートフォンをお持ちの方は、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストールをお願いする。また、会場に設置する「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」の二次元バーコード(QRコード)の登録をお願いする。
 - (4) 録音、撮影は禁止する。
 - (5) 会議の資料、傍聴方法、その他のお知らせは、当室のホームページに掲載する。
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/sanpai/>)

<参考> (調査の経過)

- R2. 2.16 第1回調査会 … 調査方針決定
5.17 第2回調査会 … 調査計画決定
7.6 パイロット調査開始(パイロットボーリング(3本)、塩川流量連続観測等)
9.22 第3回調査会 … パイロット調査結果を踏まえ調査計画の見直し
(*)パイロット調査により計画地周辺では概ね3つの帯水層を確認
→ 本格調査(ボーリング(28本)、地下水位連続観測、水質調査、シミュレーション解析等)へ移行
11月 各種通年観測スタート
- R3. 2.23 第4回調査会 … 地質構造、地層及び地下水(帯水層)の分布を概ね推定
(*)3つの帯水層と2つの難透水層が広く連続して分布
5.22 第5回調査会 … 水理地質構造(地下水の賦存状態を含む地質構造)の解析(途中段階)とシミュレーションモデルの設定条件の検討
(*)第3帯水層(地表から3番目の地下水の地層)は、孝霊山や鍋山など周辺の山で貯えられた地下水が流れ込んでいる可能性がある。
(*)モデルの平面分解能(格子の大きさ)は約30~150m、モデルの底面は標高マイナス1000m程度。[参考]解析領域:140km²(うち詳細評価範囲:30km²)
9.25 第6回調査会 … 水理地質構造の解析(途中段階)とシミュレーションモデルの検証(初期設定値による解析)
(*)地下水位の等高線図(コンター図)によると、福井水源地の主要供給源である第3帯水層は、計画地周辺及び淀江平野では、概ね南東→北西方向へ流れていると考えられる。
(*)シミュレーションモデルに用いた地質データ等を検証し、更に詳細な地下水の流れ等を解析する。